

救急・救助編

月別の救急出動状況

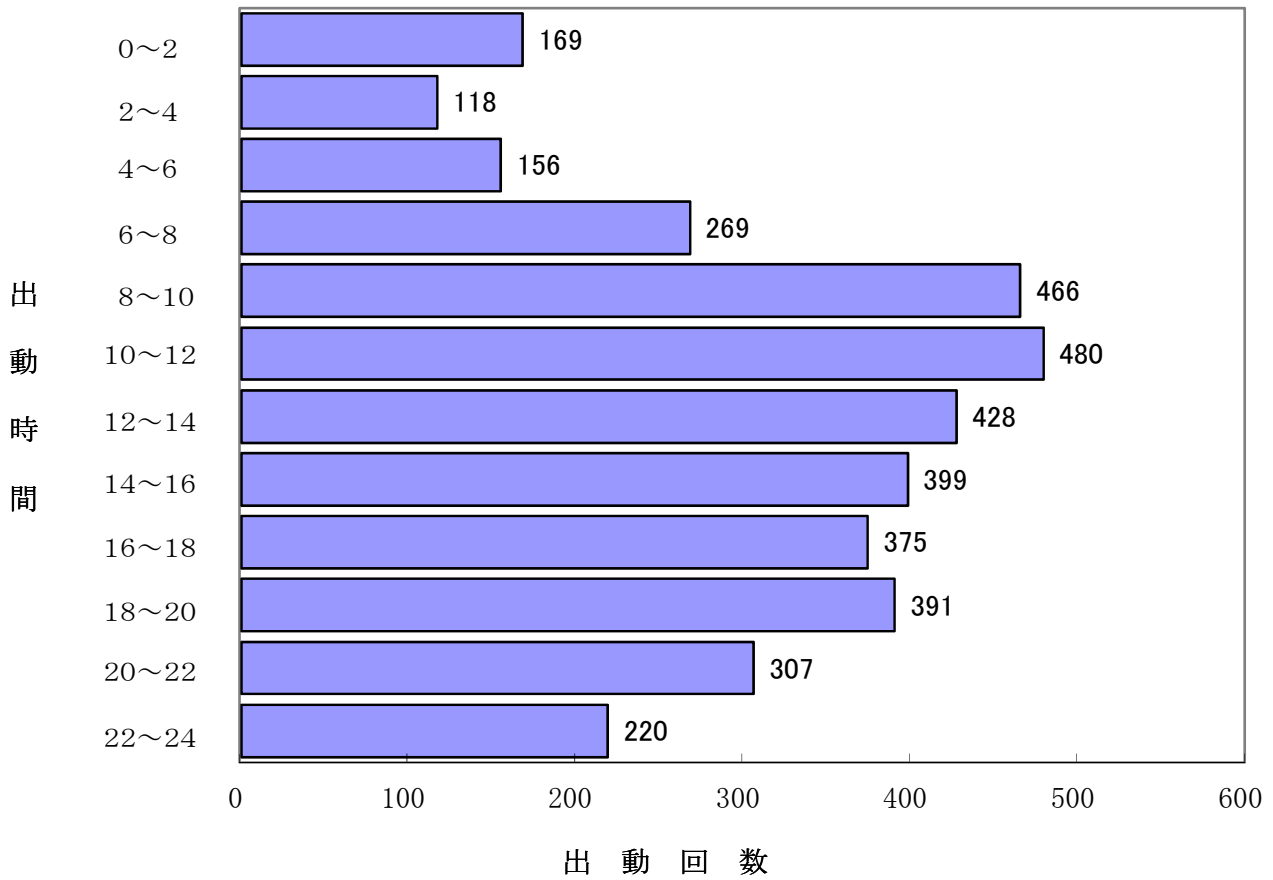
平成26年1月1日～12月31日

事故種別 区分		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計	不搬送	
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
1月	出動件数	2			21	4	5	61	1	4	235	29			12	41	374	47
	搬送人員				22	4	5	57		3	215	29				29	335	
2月	出動件数	3			15	1	1	43	1	2	185	32			8	40	291	24
	搬送人員	1			18	1		43	1	1	173	32				32	270	
3月	出動件数	3			12	3	3	51	1	2	225	47			6	53	353	28
	搬送人員				10	3	3	48	1	2	212	47				47	326	
4月	出動件数	1	1		10	1		40	1	1	173	54				54	282	15
	搬送人員				16	1		39	1	1	161	54				54	273	
5月	出動件数	2			13	5	3	40	1	1	159	37			3	40	264	29
	搬送人員				12	5	3	36	1	1	141	37				37	236	
6月	出動件数				17	3	1	37	1	6	194	42			4	46	305	29
	搬送人員				16	3	1	32	1	3	179	42				42	277	
7月	出動件数	3			20	6	3	36	1	1	211	46			3	49	330	19
	搬送人員				22	5	3	36	1	1	200	46				46	314	
8月	出動件数	2			25	3	1	45		4	215	43			6	49	344	32
	搬送人員				26	3	1	43		3	198	43				43	317	
9月	出動件数	4			15	7		29	1	3	149	39		1	3	43	251	14
	搬送人員				17	7		28	1	3	144	39				39	239	
10月	出動件数	1			25	2	1	26	1	2	198	39		1	3	43	299	25
	搬送人員	1			23	2	1	25	1		182	39				39	274	
11月	出動件数	2			20	4	1	33	3	1	181	50			9	59	304	30
	搬送人員	1			20	3	1	31	2	1	168	50				50	277	
12月	出動件数	2			20	5	1	82	1	2	226	36			6	42	381	31
	搬送人員				21	4	1	79	1	1	210	36				36	353	
合計	出動件数	25	1		213	44	20	523	13	29	2,351	494		2	63	559	3,778	323
	搬送人員	3			223	41	19	497	11	20	2,183	494				494	3,491	

出動 1日平均 10.35 件 (2時間19分に1件)
搬送 1日平均 9.56 人

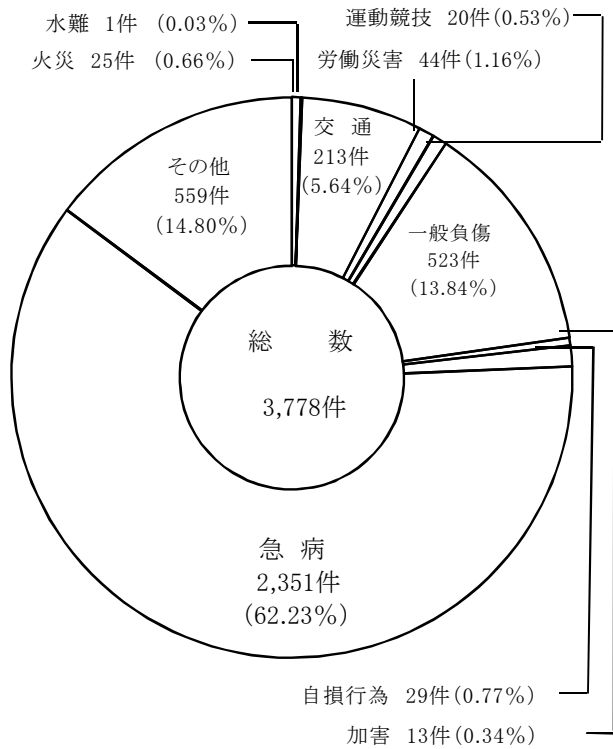
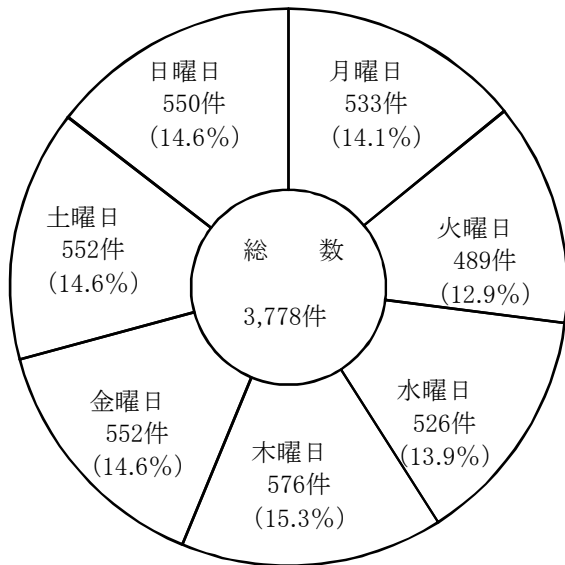
時間別救急出動件数

平成26年1月1日～12月31日



曜日別救急出動件数

事故種別救急出動割合



出動場所別救急出動状況

平成26年1月1日～12月31日

事故種別 出動場所別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	合計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
岩見沢	出動件数	24	0	1	199	43	20	506	12	27	2,252	464	0	2	61	527	3,611	314
	搬送人員	3	0	0	205	40	19	480	10	18	2,088	464	0	0	0	464	3,327	-
月形	出動件数	0	0	0	11	1	0	17	1	2	98	30	0	0	1	31	161	5
	搬送人員	0	0	0	17	1	0	17	1	2	94	30	0	0	0	30	162	-
その他	出動件数	1	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	6	4
	搬送人員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	-
合計	出動件数	25	0	1	213	44	20	523	13	29	2,351	494	0	2	63	559	3,778	323
	搬送人員	3	0	0	223	41	19	497	11	20	2,183	494	0	0	0	494	3,491	-

過去5年間の救急出動推移

事故種別 年別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	合計	不搬送
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他			
22年	出動件数	31	0	1	223	23	24	453	19	40	2,225	486	1	0	36	523	3,562	233
	搬送人員	6	0	0	272	22	24	437	19	23	2,102	485	0	-	2	487	3,392	-
23年	出動件数	17	0	0	225	25	26	541	17	45	2,384	460	-	-	43	503	3,783	244
	搬送人員	11	0	0	271	25	26	517	17	34	2,262	461	-	-	1	462	3,625	-
24年	出動件数	15	0	2	259	47	28	549	9	52	2,510	510	0	0	73	583	4,054	309
	搬送人員	1	0	0	277	46	29	523	8	31	2,368	507	-	-	4	511	3,794	-
25年	出動件数	19	0	2	258	33	31	499	16	45	2,254	483	0	0	66	549	3,706	296
	搬送人員	5	0	2	293	34	31	482	10	32	2,099	483	-	-	3	486	3,474	-
26年	出動件数	25	0	1	213	44	20	523	13	29	2,351	494	0	2	63	559	3,778	323
	搬送人員	3	0	0	223	41	19	497	11	20	2,183	494	-	0	0	494	3,491	-

傷病程度別の搬送人員状況

平成26年1月1日～12月31日

事故種別 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
死 亡				4	1		3		4	93	4	109
重 症				18	10	1	106		2	296	146	579
中 等 症	1			19	10		95	1	6	634	277	1,043
軽 症	2			182	20	18	293	10	8	1,160	67	1,760
そ の 他												
合 計	3			223	41	19	497	11	20	2,183	494	3,491

傷病程度 初診時における医師の診断(救急業務実施基準第20条第2項の医師の所見)に基づき次により分類する。

1. 死 亡 初診時において死亡が確認されたもの。
2. 重 症 傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
3. 中等症 傷病程度が入院を要するもので重症に至らないもの
4. 軽 症 傷病程度が入院加療を必要としないもの
5. その他 医師の診断がないもの、及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの

年齢区分別の搬送人員状況

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児										1	10	11
乳 幼 児				5			21			74	13	113
少 年				21		13	24	1	1	57	9	126
成 人	1			145	38	6	124	8	13	634	147	1,116
高 齢 者	2			52	3		328	2	6	1,417	315	2,125
合 計	3			223	41	19	497	11	20	2,183	494	3,491

年齢区分

1. 新生児 生後28日未満の者
2. 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
3. 少年 満7歳以上満18歳未満の者
4. 成人 満18歳以上満65歳未満の者
5. 高齢者 満65歳以上の者

救急隊員が行った応急処置件数

平成26年1月1日～12月31日

事故種別	応急処置 対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸入
						うち自動		うち自動	
急病	2,183	30	69	2	2		94		556
交通	223	24	152				4		23
一般負傷	497	98	184	1			4		39
その他	588	20	61	2			6		165
合計	3,491	172	466	5	2		108		783

事故種別	応急処置	気道確保			保温	被覆	在宅療法継続			ショックパ ンツによる 血圧保持
		※1	※2	※3			※A	※B	※C	
急病	145		4	76	16	15	10			10
交通	7			2	3	34				
一般負傷	15		3	3	6	90				
その他	11			4	3	18				
合計	178		7	85	28	157	10			10

事故種別	応急処置	除細動	静脈路 確保	その他の 応急処置	血圧 測定	聴診器による 心音呼吸音等 の聴取	血中酸素飽 和度の測定	心電図	気管挿管	薬剤投与	合計
急病	7	21	15	2,027	470	2,087	657	1	19	6,243	
交通				200	54	210	18			729	
一般負傷		2	10	473	48	481	28	1	2	1,482	
その他		3	5	545	69	564	101		4	1,577	
合計	7	26	30	3,245	641	3,342	804	2	25	10,031	

1. 止血 止血帯、包帯等による止血処置
2. 固定 副子等による固定又は安静保持
3. 人工呼吸 口移し又は器具等による人工呼吸
4. 胸骨圧迫 胸骨圧迫 うち自動は自動式心マッサージ器の使用による体外式胸骨圧迫心マッサージ
5. 心肺蘇生 心肺蘇生法
6. 酸素吸入 酸素吸入器による酸素吸入
7. 気道確保 気道の確保のための処置並びに口腔内清拭及び吸引の処置
 - ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
 - ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
 - ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
8. 保温 傷病者の傷病状況から特に保温を保持する必要がある場合に行う保温処置
9. 被覆 創傷をガーゼ等で被覆し、包帯をする創面保護
10. 在宅療法継続 在宅療法継続中の傷病者に対しその療法維持のために行った必要な処置及び在宅療法に異常があった場合に行った応急処置
 - ※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
 - ※B 気管切開孔又は気管瘻、人工肛門等の外瘻処置が施されているもの
 - ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの
11. ショックパンツによる血圧保持 ショックパンツを使用した血圧保持の処置
12. 除細動 重度傷病者に対して行う自動体外式除細動器(AEDを含む)による除細動
13. 静脈路確保 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、薬剤を用いた静脈路確保のための輸液
14. その他の応急処置 1から13以外の応急処置
15. 血圧測定 血圧計を使用しての血圧測定
16. 聴診器による心音・呼吸音等の聴取 聴診器を使用しての心音・呼吸音等の聴取
17. 血中酸素飽和度の測定 血中酸素飽和度測定器を使用しての血中酸素飽和度の測定
18. 心電図 心電計を使用しての心電図の測定
19. 気管挿管 気道確保のための処置で救急救命士が行った気管挿管処置
20. 薬剤投与 救急救命士法に基づき心臓機能停止傷病者に対して行う救急救命処置のうち、アドレナリンを使用した処置

急病にかかる疾病分類別搬送人員の状況

平成26年1月1日～12月31日

分類項目別	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	症徴 診不	合 計
	脳疾患	心疾患									
搬 送 人 員 (人)	258	278	253	285	121	59	72	53	381	423	2,183
構 成 比 (%)	11.8	12.7	11.6	13.1	5.5	2.7	3.3	2.4	17.5	19.4	100.0

1. 急病に係る疾病分類とは、事故種別の急病については初診時における医師の診断に基づく傷病名をWHO(世界保健機関)で定める国際疾病分類(ICD)により分類したものである。
2. 「脳疾患」とは、脳血管疾患をいう。
3. 「新生物」とは、胃の悪性新生物、白血病等その他の悪性新生物及びその他の新生物をいう。
4. 「症徴診不」(症状・徴候・診断名不明確の状態)とは、腹痛、頭痛、失神、めまい等の疾病をいう。
5. 「その他」とは、上記の循環系から新生物までに分類された以外の疾病分類の全てである。

救助事故種別出動件数

平成26年1月1日～12月31日

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故	合 計
	建物	建物以外									
岩見沢市	2	2	23	1		2	2			22	54
月形町			1							2	3
その他の 市町村											0
合 計	2	2	24	1	0	2	2	0	0	24	57

救助活動件数・救出人員数調

事故種別 件数区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機 械 に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事 故	合 計
	建物	建物以外									
活動件数	2	2	18	1	0	2	2	0	0	17	44
救出人員	2	3	36	1	0	3	2	0	0	17	64

1. 火災とは、火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。
2. 交通事故とは、すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
3. 水難事故とは、水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
4. 風水害等自然災害事故とは、暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべり、その他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。
5. 機械による事故とは、エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。
6. 建物等による事故とは、建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
7. ガス及び酸欠事故とは、一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。
8. 破裂事故とは、火災現場において直接火災に起因して生じた事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。
9. その他の事故とは、上記に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。